

地域の活動紹介します ～地域活動レポート～

久留米市では、「支え合うところあふれるまち くるめ」の実現を目指し、様々な活動が展開されています。今回は、校区の取組みに焦点をあてて、特色ある活動についてご紹介します。

朝ごはんを食べて、元気に一日を過ごそう!

実施主体 荒木おにぎり食堂の会

「朝ごはんをしっかりと食べていない子が増えている」と、小学校の先生の話聞いた荒木地区主任児童委員の廣重さん。「子どもたちのために食堂をやってみたい」と周囲に相談したところ、想いが重なりました。ボランティア、荒木農家盛り上げ隊、校区社会福祉協議会などの多くの人の協力のもと、昨年8月、「おにぎり食堂」を立ち上げました。場所は、小学校近くの教会を借りています。

「おはよう」と明るく子どもたちを迎え、「いってきまーす」と元気に登校していく子どもたちを送り出します。日々の生活にメリハリをつけるきっかけになればと、毎週月曜日、朝7時から開催。食材は寄付やフードバンクを利用するとともに、活動継続のため、市子ども食堂事業費補助金も活用。

廣重さんは「ここに来るようになって、子どもたちの表情が変わり、地域で会うと『また行くね』と声をかけてくれることが嬉しい」と笑顔で話されていました。

地域の大人と子どもがふれあい、食事や会話を楽しみ、お互いにとって活力を得る場になっています。



にぎやかに「いただきます!」



看板とのぼりが目印

俺たちも楽しく集まろう

実施主体 青木校区社会福祉協議会

青木校区では、月に2回、金曜サロン※を実施していますが、男性の参加が全くないことが気がかりでした。

そこで、男性が多く参加されている津福校区の雀健サロン(麻雀で健康を目指すサロン)を参考に、昨年5月に麻雀を楽しめる新たな取組みを始めました。麻雀の「雀」の字を取って「青木すずめの会」と名付け、月1回(第3金曜日)、金曜サロンと一緒に開催しています。

また、サロン参加者に振舞われていた評判の手作り料理を、すずめの会でも参加費500円で、昼食としていただけます。金曜サロンの参加者と一緒と同じ会場で食べるので、地域でのふれあいも深まっています。

参加者からは、「月に1回というのがちょうどいい」「ストレス解消にもなる」との感想が聞かれました。時に真剣に、時に笑いを交えて麻雀を楽しんでおられ、和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。

※サロン…誰もが気軽に集える場所



頭の運動だけでなく、指先の運動にもなります



もちろん賭けは無しです